

長崎から平和うたえる

ぼく・わたしの気持ち

「ピースをあつめて」を読んだ感想

◆平戸市立平戸小4年

▼今せんそうがおきていたら、わたしたちはどのような生活になっていたでしょう。未来はこれから幸せがいいですね。毎日の平和をねがって(三木紗帆)▼じっさいに体験した人たちがこういになって教えることができなくなってきたので、ぼくたちが次の人たちに教えてあげたい(馬込和人)▼ぎせいにあった人や大げをした人たちがたくさんいました。未来のこともたちにしってほしかったので書きました(長嶋心愛)▼原は

くがなくなりますますよくに。へいわな国がいっしょうつづきますように(杉山心美)▼原爆を体験した人の高れい化が進んで教えるのがむずかしくなってきたので、自分たちが未来の子どもたちに教えてあげたい(神田蒼太)▼未来の子どもたちにせんそうがあったとつたえて、この平和をずっとつづけていってほしいです(上野真歩)▼こんな町がつくりたい。みんなのえがおがあふれて仲よくくらせる町。へいわな町ができて、みんながへいわにすこせすますま(岩村純那)

◆平戸市立平戸小4年

▼山下さんは私と同じとしくらのときに戦争を体験したのだそうです。平和な世界がつつよように、私ができることからがんばります(山中志歩)▼げんばくがおちて71年がたった

日。ぼくは10さいで、せんそうのこわさをあらためて知り、せんそうのない国にしようと思いました(山口郁弥)▼実さいにけいけんした人から話を聞くと、どんなに大変かわかりました。世界が平和であってほしい、そういう気持ちです(山川咲璃)▼ぼくしんちから2*ほどはなれたところに住んでいたやましたまもるさんの話を聞きました。戦争はいやだ。戦争はこわい。二度とあってほしくない(宮國わか)▼なぜ戦争をするのか。なぜ人間どうして戦うのか。戦争のことは一生わすれません。

世界が平和になっても…(松本夏弥)▼戦争でいろいろな人たちが苦しんできました。今、平和だからみんな笑顔でいられてうれいす。世界が平和でいられますように(松永はるか)▼昔に生まれていたらきつと死んでいたかもしれないと思いました。もう一生原はくは落としてはいけないと心にくにきめました(塩谷季衣佳)▼平和があたりまえのことだと思いた。黙つて、もう戦争がないように思いました(近藤和)▼もうにとどげんばくがおちないように国と国がなかよくなる。なくなつた人のことを思いながら、もくとうをしました(川下美優)

◆平戸市立平戸小4年

▼せんそうがないほうがいいとおもつ。へいわだったら、日本とアメリカにいったりかえたりできる(トレプカ一英)▼アメリカの人が落とした原子爆弾はとってもおそろしい爆弾。町や建物をポロポロにされておそろしいと思いました(吉本壮玖)▼原爆がおちてきたら大へん。にとど原爆がおちてこないよつにがんばろうと思う(森田来夢)▼核兵器が前年とくらべて350発しかへつていません。世界全体で1方5千発以上あるとわかつて、なぜもつとへらせないのかな(高田雛乃)▼せんそうなんかしたくない。友達を大切に、平和な町に生まれたことを感しゃしたいと思います(坂野衣歩紀)▼原爆が弾がおとされて、しゅんにして幸せなぐらしが地ぐくのようになるとした。一生わすれてはいけな(木場夢希)▼お寺や家がなくなつて、ばらばらになつて、とてもびつくりして悲しくなりました。わたしたちが伝えていくため、行動にうつせるよつにがんばりたい(川上友梨子)▼新聞をよんで原爆のおそろしさがわかりました。二度とこのよつなことがないようにしたい(井元統希)▼8月9日がどれだけ大切な日なのかを知つた。なくなるのを願つていてもまだ終わらない戦争。なくなつた人がやすらかに、ねむれるよつにしたい(井元彩碧)